



会長:鈴木 邦昭 幹事:土屋 富士子
副会長:山田 賢昭 副幹事:増田 貴行

第2392回
通常例会/小杉苑

● 会長報告

鈴木 邦昭君

皆さんこんにちは。本日は通常とは少し例会スタイルを変更させていただき、12時より食事をとっていただけるようにし、12時半開会点鐘とさせていただきます。



理由として、例会時間に余裕を持たせることと、分散して食事をとることによりマスクを外している人数も軽減され飛沫感染リスクを少しでも防ぐ効果があるのではと思います。

プログラムによっては閉会時間の 13 時半前に閉じることもあるかと思ひますし、食事時での歓談はメンバー通しのコミュニケーションを図る重要なものと重々承知していますがコロナ感染が拡大している中ですので、少しでも有効と思うことをやることはやっていき時間を有効活用していきたいと思ひますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

本日8月10日は語呂合わせで「健康ハートの日」となっています。私は先週の例会前に年に一度の健康診断を受けてきましたが、夏の間心と体のチェックをして、心臓病の多発する冬に備える日というのが目的のようですが、ここ数年の激暑、酷暑は本当に身体にも大きな負担となり、屋外で働く身として熱中症になるリスクが年々高くなっているように感じます。過度の体温上昇により全身の各臓器には負担がかかり、その結果、血液循環の要である心臓にも負担がかかり心筋梗塞が起こりやすくなります。コロナ過ではマスクをしていて口の周りに湿気がこもり、のどの渇く感覚が鈍りますので、気温や室温など環境に気をつけて十分に水分補給をしていきましょう。夏はアクティブに過ごしたいものですが、一生働き続けてくれる心臓に配慮がほしい季節といえます。明日からお盆休みという方もいると思ひますが、のんびりと身体を休ませて過ごす日を設けてみてください。

そして今日のメインはガバナー補佐卓話になります。第四グループ鈴木ガバナー補佐様、植田ガバナー補佐事務局長様、大変ご多忙の中、藤枝にお越しいただきありがとうございます。今年度地区方針は「絆を深めて、ロータリー活動を再開しよう」です。アフターコロナを見据えての方針ではありますが、地区・クラブの架け橋役としてコロナ感染拡大に歯止めが利かない現状の中でのご指導・ご助言を賜ります事、またロータリー歴43年の大ベテランとして体験されてきた貴重なお話が聞けると思ひますので、大変楽しみにしておりますし、時間が許すようであれば美声もお聞かせ願えればうれしく思ひます。この後どうぞよろしくお願ひいたします。最後に先週の例会で見学にきていただきましたホクシン物流の杉浦さんが入会を希望され、その日の理事会にて会員資格条件を満たしていることを確認し、承認をいただきました。例会中に入会申込書を回覧させていただきますので、ぜひご承認をお願いするとともに入会した暁には温かくお迎えいただければ幸いです。今月は会員増強推進月間となりますので、今後も皆さんより多くの紹介をお願い申し上げ、本日の報告とさせていただきます。

● 理事会報告

土屋 富士子君

- 8/24の夜間例会について
アルコールの提供なし、同行者の参加なしの対応で承認されました。席やアトラクション、交通手段については、委員会へ一任となりました。
- 10/12 職場訪問例会について、日時と場所が承認されました。その他は継続審議となりました。
- 9/7 外部卓話について、大学の国際化に関するないような卓話となります。月初め例会の為時間調整(12時からの食事)の開催方法で承認されました。
- 9/14 地区委員卓話について公共イメージ向上委員会、若林委員長、杉山委員による卓話ロータリーの友の紹介もあり 時間調整(12時からの食事)をしての開催方法で

承認されました。

- ・9/21 テーブルメイト卓話について事前のテーブルメイト開催を企画します。(題材は幹事と相談)
- ・冠講座一般聴講の受け入れ可が承認されました。
- ・2021~2022 年度決算報告が承認されました。
- ・山静学友会、学友卓話について今後プログラムへ検討することで承認されました。
- ・事務局雇用契約について更新内容が承認されました。
- ・新会員入会について 武田会員のご紹介の(株)北榛物流 杉浦俊明様の入会が承認されました。
- ・2022~2023 ガバナーノミニー・デジグネット推薦者なしで承認されました。
- ・藤枝順心中高校全国大会支援について1口5000円の支援が承認されました

● 幹事報告 土屋 富士子君

- ・日本事務局より、会員増強、新クラブ結成推進月間理ソールのご案内、財団室 NEWS2022 年 8 月号が届きました。
- ・志太経済懇話会より、30 周年記念誌が届きました。

● 出席報告 森下 敏顯君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
40/43 93.02%	42/43 97.67%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 伊藤君 ○大杉君 ○大塚君 ○落合君
- 河森君 ○鈴木舜君 ○武田君 ○玉木君
- 辻君 ○松田君 ○八木君 菅原君
- 仲田晃君 望月君

(2)メイクアップ者

- 伊藤君 大杉君 大塚君 落合君 河森君
- 鈴木舜君 武田君 玉木君 辻君 松田君
- 八木君

● ビジター

国際ロータリー 第 2620 地区 静岡第 4 グループ
鈴木 義弘がバナー補佐

国際ロータリー 第 2620 地区 静岡第 4 グループ
植田 進がバナー補佐事務局長

● ゲスト

リ・ミンギョクさん (米山奨学生)

● スマイルBOX 森下 敏顯君

- ・過日 掛川市民オーケストラのオペラ公演に幹事の土屋さんがみえて下さり素敵なお花をいただきました。有難うございました。
- ・鈴木ガバナー補佐様、植田事務局長様、ようこそ藤枝におこし下さいました。本日は宜しくお願いいたします。

ガバナー補佐鈴木義弘君

鈴木邦昭君、土屋富士子君

スマイル累計額 39,000円

● インターアクト年次大会報告

ロータリープログラム委員会 委員長

平 和則君



令和 4 年 8 月 6 日
(土)、第 48 回インターアクト年次大会が『障がいを超えて思いを繋ぐ、チャレンジをしよう』をテーマにオンライン開催 (ZOOM) されました。

当日、順心高校に出向き、曾根顧問、渡辺さん (2 年)、奥川さん (1 年)、福與さん (1 年) と一緒に参加いたしました。交流は前半がブラインドサッカー研修、後半は手話学習・交流研修の 2 部構成で行われました。

ブラインドサッカー研修は、静岡県の選手が講師として「目を閉じて文字や図形が書けるか」、「生徒同士がペアになり、一人が目を閉じ、もう一人が言葉で指示した通りに身体ポーズができるか」また「障がい者と健常者が混ざり合う社会とは」をテーマとしてグループディスカッションをして発表が行われました。

後半では、グループ分けをして、ホスト校の三島学園知徳高等学校 (提唱クラブは三島 RC) のインターアクト部員がリーダーになり手話による「自己紹介」し、「虹 (菅田将暉)」や「Happiness (嵐)」を手話を交えて歌えるようにグループ学習し、最後は参加者全員で手話歌が行われました。

オンラインでの開催とは言え、参加した高校生の多くが感動を体いっぱい表現しているように見えました。また、本大会は「障がい者と共生する社会」について、具体的な交流を通して一人一人が考えるよい機会になったのではないかと思います。



●ロータリーの友紹介 石垣 善康君

『ロータリーの友 8月号紹介』

8月は会員増強・
新クラブ結成推進
月間

「多様性のあるク
ラブづくりへ女性
会員を増強しよう」をテーマに特集記事



横開き P7

多様性のあるクラブづくり

年齢、性別、価値観、宗教、学歴などさまざまな属性を持つ人たちを等しく認め合い

互いの違いを受け入れ、活気あるクラブの活動を目指す

横開き P8-9

女性会員に立ちはだかる壁

- ・家庭・育児・仕事＝周囲に協力者が必要
- ・クラブ＝男性、女性を区別すること自体が不要＝多様性のあるクラブ

横開き P10-11

女性の入会のハードルを高くしている要素
トップが「男性中心であること」

- ・男性だけのクラブ
- ・意見が言えない
- ・役職者が男性ばかり

- ・居酒屋で会合
等

入会しやすい要因

- ・女性会員がいる事
- ・女性リーダーがいる事

横開き P12

世界の女性会員比率

低い理由

*外国と比べた時、女性の経営者・管理職の比率が低いのも一つの要因

●ガバナー補佐訪問

国際ロータリー

第 2620 地区

静岡第 4 グループ

鈴木 義弘

ガバナー補佐



本年度RI2620地区第4グループのガバナー補佐を務めさせていただく榛南 RC の鈴木義弘と申します。本日は補佐としての役目でもありますが皆様にお会いするのを楽しみに伺いました。本日で補佐訪問としては5クラブ目です。補佐をお引き受けする際、内心は「面倒な仕事だな」と思っておりましたが、今ではそれが楽しみに変わりつつあります。訪問前にどんなクラブだろう？どんな挨拶をしようか？と想像をめぐらしながらクラブ計画書を拝見いたします。そして本日のように訪問し、皆様にお会いし、例会の空気を感じ取ります。その一連の作業がとても楽しく、またこの様な機会を得て新たな友を作る喜びもあります。今日を皮切りに4回お邪魔させていただきます。ガバナー補佐だからといって上に置かず、新たな仲間ができたという感じでお付き合い下さい。

さて、ガバナー補佐の役目はRI 会長と地区ガバナーのメッセージと地区の方針を伝達することです。が、既に年度が始まり1ヶ月が過ぎ、クラブ計画書もお読みになられていると思いますし、鈴木会長からもお聞き及びのことと思いますので要点と重点のみ簡単にお話させていただき、与えられた余り時間は私のRC感をお話させていただこうと思います。

RI初の女性会長、ジェニファー・ジョーンズさんはIMAGIN ROTARYという抽象的なメッセージを投げかけています。計画書の掲載された書簡は彼女の経験した幾つかのストーリーが描かれ、それを通してロータリアン個人の行動がクラブや地域、そして国際的なネットワークを通じて世界中の大きなインパクトをもたらしていることをイメージして下さい。そしてそれが時代の変化に対応してロータリー自身も変化することによって更に大きな力になることにも思いを馳せて下さいと言っています。D(多様性)・E(公平性)・I(包容力)こそがこれからのロータリーのブランド価値を高めより多くの賛同者を得ることに繋がり明日の活力の源になると問いかけ、ロータリアン一人ひとりがその事をイメージしながら自分に与えられた人生の時間を使って欲しいと言っています。

浅原ガバナーはそれを受けて「絆を深めロータリー活動を再開しよう」をスローガンに掲げました。2年以上にわたるコロナ禍によって制約を受けたロータリー活動を今こそ再開し、親睦による絆を深めようと問いかけています。財団寄付など地区としての様々な目標値がありますが最も重点を置いているのが会員の維持増強です。そこには先に述べたDEI、多様性と公平性と包容力が求められています。今までの職業分類に囚われない多様な人材、特に女性会員の勧誘への注力を期待しています。奉仕活動の再開と絆増進についてはグループ内の複数クラブでの合同奉仕作業の実現に挑戦してほしいと希望されています。当静岡第4グループでは第2、第3グループとも共同で海岸の環境保全事業として沼津から磐田までの海岸線の4箇所で行うことになりました。3グループ32クラブが場所は違えども同時に同じ奉仕を行うこととなります。第4グループは全9クラブが相良海岸に結集して共同作業する事になりました。環境保護という目的ではありませんが、ともに汗を書くことによってクラブの枠を超えた友情の輪を広げて頂く機会になれば幸いです。その際には大勢の皆様のご協力をお願い致します。



ソングリーダー…… 平野 純也君
ソング…… それでこそロータリー

四つのテスト



《9月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
5	6	7	8	9
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
12	13	14	15	16
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
19	20	21	22	23
閉局	10:00～ 16:00	9:30～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局
26	27	28	29	30
閉局	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00	閉局

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局

〒426-0037

藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21

TEL054-647-2300 FAX054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/内田 寿美君)